

アドベンチャープログラム青少年教育指導者研修会

平成30年6月16日(土)～17日(日)

【目的】

冒険教育の手法を用いた活動を通して、チームビルド等の人間関係の構築や自己肯定感の向上を目的としたグループワークの指導者になるための基本的な知識・技能を体験的に学習する。

【参加者】16名

【プログラムの内容】

1日目

- 9:45 開講式、オリエンテーション
- 10:00 セッション①「アイスブレイク等」
- 13:00 セッション②「イニシアチブ・ローエレメント等」
- 19:00 セッション③「理論、being」

2日目

- 9:00 セッション④「ローエレメント」
- 13:00 セッション⑤「イニシアチブ・being」
- 16:00 閉講式

セッション①



PAJより杉村厚子氏をお呼びし、冒険教育について体験的に学ぶ機会としました。県外からの参加者や学生の参加も多かったが、この分野について知っている人が多く、はじめからゆったりとした始まりとなった。

セッション②



午後からはイニシアチブやコミュニケーションをしたのち、ローエレメントにでました。

参加者はみなさん一生懸命取り組んでいました。

お互いを支えることの楽しさや、安心を感じることができたようでした。

セッション③



夜はウォームアップをしたのちに being をしました。一日で気付いたことを共有し、グループを高めるために必要な事を出し合い、方法を具体的に決めていきました。

セッション④



2日目は朝から理論を学びイニシアチブの後エレメントを体験しました。

2日目とあって、ぐるーぶのさらなる高みを感じながらの活動となりました。

セッション⑤



午後は室内でコミュニケーションのアクティビティとふりかえりをしました。参加者は少しモヤモヤを抱えながらの活動時間となりました。自分の思いを出せる空間になるからこそ、思いが通じないことにモヤモヤする。そんな時間になりました。

【参加者の声】

言葉で表現することができない貴重な体験をすることができた。改めて、自分自身を振り返ることもでき、一步踏み出せていない自分があることにも気付くことができた。

自分を出すことの難しさを感じることができ、ふりかえりでもいろんなことが頭を駆け巡り自分を知れたいい機会になりました。

活動の中でグループの所属感が高まっていくのを感じました。程よいワクワクドキドキと負荷のかかり方が絶妙でした。

【成果と課題】

例年2月に実施していたものを青少年教育指導者向けに6月実施に変更しましたが、開催時期がよかったとの声をいただくことができました。また、TAPの研修会や指導者養成講習会への接続もスムーズに行えることもメリットとなりました。